

報道関係者各位

【滞留理論で企業を変える】企業変革支援サービスを開始**～経営資源の「滞留」解消によって既存事業のバリューアップを支援～**

2025年1月15日

会社名 THE WHY HOW DO COMPANY 株式会社

代表者名 代表取締役社長 岩尾 俊兵

(コード：3823 東証スタンダード)

THE WHY HOW DO COMPANY 株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：岩尾俊兵、以下「当社」）は、当社代表取締役社長の岩尾俊兵が提唱する「経営資源の滞留理論」を軸とした、新たな企業変革支援サービスの提供を開始いたしました。

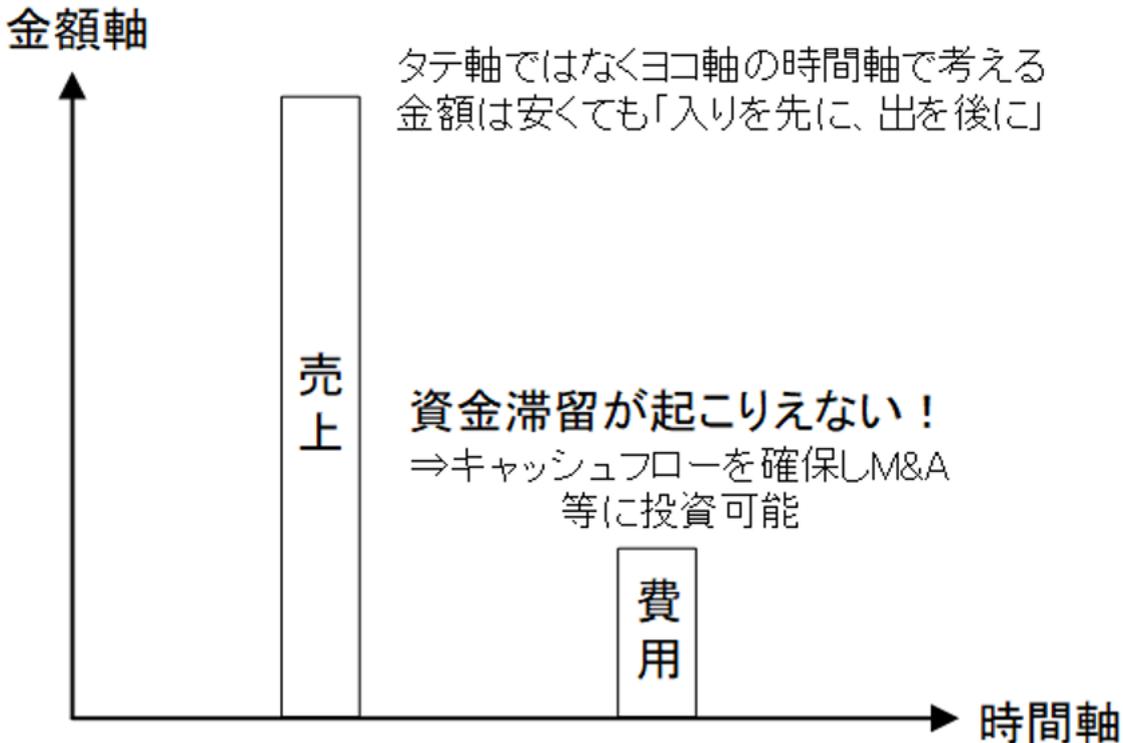
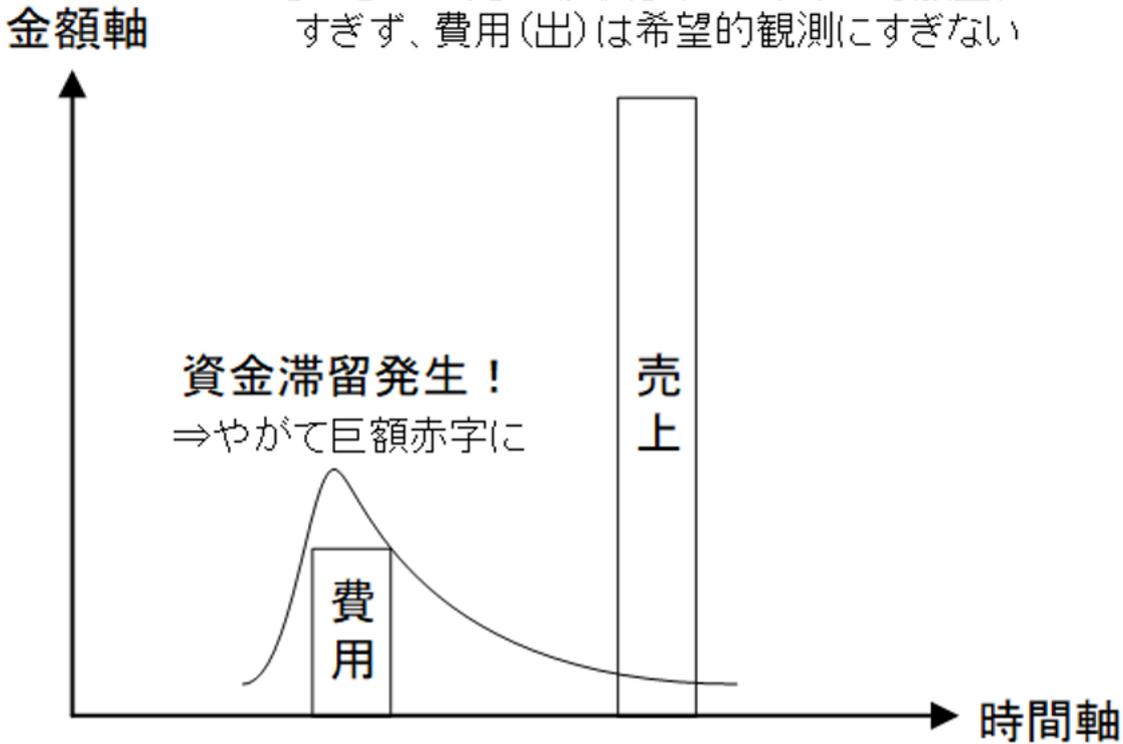
1. 「滞留理論」による価値創造

要素	ストック（事前）	フロー（事後）
頭	知識	戦略
心	情熱	情報
手	お金	仕事

「滞留理論」は、企業の経営資源における課題を「頭」「心」「手」の3つの要素と、「ストック（潜在的な資源）」「フロー（資源の活用）」の2つの時間軸で構造的に捉える独自の理論です。

- 「滞留理論」における6つの要素の一つお金の滞留解消例

いわゆる「入るを量りて出ずるを制す」の発想
しかし……売上(入)はイマジナリーな願望に
すぎず、費用(出)は希望的観測にすぎない



この理論により特定された「滞留」状態を解消し、価値創造へと転換する実行段階において重要となるのが「5Mの手配」の考え方です。「5Mの手配」とは、目的の実現に必要な経営資源を過不足なく取り揃えること。具体的には、ビジネスに必須の「5M」(Man、Machine、Material、Method、Money)を調達し、組み合わせ、システムとして成り立たせ、改善していく活動を指します。

■ 提供するサービス内容

1. 「滞留」の分析と「手配」の最適化
・組織内の「滞留」状況の診断

- ・5Mに基づく必要資源の特定
- ・経営資源の過不足ない調達と組み合わせ

2. システム構築と改善支援

- ・価値創造の仕組みづくり
- ・実行計画の立案
- ・継続的な改善活動の支援

3. オペレーション変革支援

- ・業務プロセスの最適化
- ・組織能力の向上
- ・実行力の強化

■ 本サービスの特長

- ・「滞留理論」による本質的な課題分析：組織の潜在能力を最大限に引き出すため、経営資源の「滞留」状態を構造的に分析し、具体的な解決策を提示します。
- ・オペレーション経営との融合：『はじめてのオペレーション経営』で体系化された知見を基に、5Mの最適な「手配」により、価値創造の実現を支援します。
- ・戦略策定から実行までの一貫支援：理論と実践を組み合わせた包括的なアプローチにより、確実な成果創出を目指します。

■ 今後の展望

当社は本サービスを通じて、企業の持続的な成長と価値創造の実現を支援してまいります。特に以下の3点に注力し、サービスの拡充を図ります。

1. コンサルティング領域の拡大

- ・業種・業態別の支援メソッドの開発

2. 研究・教育活動の推進

- ・「滞留理論」の更なる深化

3. 企業間ネットワークの形成

- ・イノベーション創出の支援

■ THE WHY HOW DO COMPANY株式会社について

当社は「WHY（我々はなぜ生きているのか）」と「HOW（どのように生きるのか）」を追求し、企業の持続的な成長と社会への新たな価値創出を支援する企業です。子会社の運営を通じて得たノウハウを基にした「泥臭い」経営コンサルティング、「泥にまみれてお客様の期待に応える」新規事業の立ち上げ支援、「一緒に泥をかぶる」子会社への経営指導など、多岐にわたるサービスを提供しています。

■ 書籍情報

書籍名：はじめてのオペレーション経営（有斐閣ストウディア）

著者：岩尾 俊兵、秋池 篤、加藤 木綿美

出版社：有斐閣

発売日：2024年10月11日

<https://www.yuhikaku.co.jp/books/detail/9784641151253>

【THE WHY HOW DO COMPANY 株式会社】

所在地：東京都新宿区愛住町 22 第3山田ビル

設立：2004年7月 上場：2006年10月 東証スタンダード（3823）

代表者：代表取締役社長 岩尾 俊兵

事業内容：傘下企業の経営・管理

URL: <https://twhdc.co.jp>

■ 本リリースに関するお問合せ先

当社ホームページのお問い合わせフォームをご利用ください

<https://twhdc.co.jp/inquiry/>

